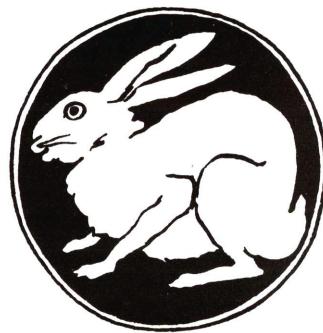


婦人と子ども



フレーベル會



大正四年六月五日

第十五卷

第六號

第十五卷第六號目次

疲勞と練習
松本亦太郎

『菊ちゃんの新遊嬉』(アルコット)

岡田みつ

此頃流行する子供の病氣
石塚保吉

第二十二回京阪神聯合保育會提出遊戯及歌曲
(京都市保育會及大阪市保育會の部)

雜錄

フレーベル追憶錄

本誌定價
一冊郵稅共金拾壹錢
六冊前金郵稅共六拾錢
拾二冊同金壹圓貳拾錢
郵券代用一割增
購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ
込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七三六六
番)

本會宛御用務
(庶務上保育會に關する件をも含む)の御手紙は
本會宛諸般の御用務は左の如く願ひます

東京市小石川區久堅町七十四番地
木山谷一二四倉橋惣三宛

會計事務は東京女子高等師範學校附屬幼稚園内、
雨森鉄宛

本誌編輯の御用務(寄稿、廣告等)は東京府下代々
木山谷一二四倉橋惣三宛

大正四年六月五日發行

東京府豊多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四
倉橋惣三宛

編輯並發行者
東京市本所區番場町四番地
登井平

印 刷 者
東京市本所區番場町四番地
凸版印刷株式會社本所分工場
發 行 所
東京市小石川區久堅町七十四番地
フレーベル會

六月例會

六月十二日(第二土曜日)午後二時より

東京女子高等師範學校附屬幼稚園にて

講演

北米合衆國に於ける幼稚園 文學博士 吉田熊次氏



吉田博士近く北米の教育視察せられ同國の主なる幼稚園に就ても亦視察せらるゝ處あり。
其の實際に關し最有益なる御講演ある筈。廣く多數諸君の御來聽を希望致候。

六

月

フレーベル會

注意 夏期講習會廣告此の裏にあり。

幼兒教育夏期講習會

期 日 八月六日より同十二日まで（全國幼稚園關係者大會は

八月三、四、五の三日間につき、之れに引つゝき開催す）

場 所 東京女子高等師範學校内に於て

科目及講師

一、運動及び遊戯法（實習）

東京女子高等
師範學校教授 二階堂とくよ氏

一、幼兒の精神査定の方法及處置

ドクトル 三田谷 啓氏

一、幼稚園に於けるお話の仕方

早蕨幼稚園長 久留島 武彦氏

一、幼稚園教育の問題

東京女子高等
師範學校講師 倉 橋 惣 三 氏

會 費 金貳圓（本會々員に對し二割引）

申 込 七月五日までに、東京女子高等師範學校附屬幼稚園
内フレーベル會夏期講習會準備掛宛（御希望により
宿泊所の御便宜を計るべきにつき、其の向も併せ
て御申越相成たし）

六 月 フ レ ー ベ ル 會

羽仁ともと子主幹

友之供子

婦人之友社が年來の宿志によつて、昨年四月から出して居ります十分教育的なる子供雑誌で御座います。記事も挿畫も子供の喜ぶものばかりです。樂んで読む間に、頭脳をよくし感情を高尚にし、善良なる習慣を愛するやうになります。『子供之友』には、一つの非教育的な挿畫も、一行の不注意なる文章もありません。『子供之友』は、家庭教育の最も有力なる補助機關であります。幼稚園及び小學校時代の御子様方のために、熱心によき讀物を求めて居らるゝ御家庭におすゝめ致します。

一定價錢冊年郵半分稅もと六錢六錢

谷番○〇六一替振司雜京東

婦之人友社

疲 勞 と 練 習

(フレーベル會例會講演概要筆記)

緒 言

作業が多少の長時間繼續する際に現れる變化中で最重要なるものは疲勞と練習との二現象である、人間生活はこの兩者のために多大の影響を受けつゝある。殊に近時都會生活が擴大せられ勞役生活が盛んに行はれるやうになつた結果として疲勞する度が多くなり、然る生活中にある人間は神經が過敏になり其爲め身體上に於て種々の障礙が起り、單に自己の身體のみならず、其禍が子孫に及び、然る人々の間に生る、兒子の數が減じ、産れた兒子も死亡率が大きく、或は生育しても體質が悪いと云ふ様な事が起り、又一方に於て夫等身體の障碍に應じ精神も亦不健全なる事柄が起り或度ま

東京帝國大學文學本科大學 教授 文學博士 松本亦太郎

で人間を墮落させる。斯る事柄を見て、其有力なる一原因になつて居る疲勞を研究するの必要を感じるに至つた。近來歐米に於ては疲勞の研究が大分行はれて居り同時に疲勞と對抗關係を有して居る練習の研究も行はれてゐる、即ち心理學は無論のと醫學に於ても實際生活の方面に於ても、盛んに疲勞を研究してゐる。我國でも余自身監督の任に當つた東京、京都兩大學の心理學實驗室に於て檜崎淺太郎、河内幸憲、田中寛一等の諸文學士及其他の少壯の専攻學生が種々の方面から出來る限り材料を蒐めて之が研究に從事した。今日は夫等の研究の一端を概括して述べんと思ふのである。尤も我々の研究は心理學教室に於いてしたので、少年時期より老年時期に亘つて材料を蒐集した、幼少

なる兒童に就ては實驗的研究を施すことが困難である、幼兒の場合に於ては觀察に據る方が却つてよくその真相を知ることが出来る、この觀察の結果に就ては平生幼稚園教育に從事して居る諸君に教を受けねばならない。

疲 勞

意志的動作を營む際に起る疲労と身體的動作を營む際に起る疲労とを比較して見るにその本質に於て大差はない。

一つの作業動作は種々の重要な要素から成立つ

て居るが故に、疲労のみを抽出して他の諸要素から分離せしめその狀態を研究することは困難である、種々の條件内に於ける作業動作を比較し疲労に屬する狀態を推定するのである。疲労には主觀的方面、即ち疲労の感なるものがある、乍併疲労の感じを原として疲労を確實に研究することは出来ない、何故ならば實際に於て疲労の感じと疲労

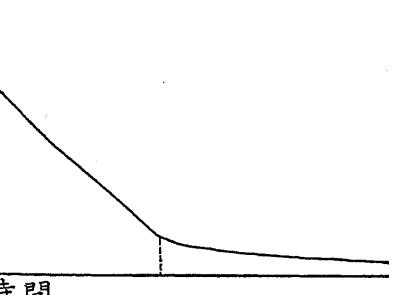
そのものとは必ずしも一致しないからである。疲勞の感じはありながら實際に仕事の分量及び性質に何等の變化を來たしてゐないことがある、又これと反対に疲労の感じはさまで強くはない拘らず仕事の分量は甚しく減じ又その性質の甚しく悪くなつて居ることがある。疲労の感じは疲労の來ることを豫告するものであるといふやうに説く人もあるが斯く信ずることが必ずしも妥當なりとは言ひ得られない。要するに疲労の感じを以て疲労の度を測ることは出來ない、疲労の感じは疲労の尺度とはならないのである。

斯る次第なるを以て疲労の研究は客觀的方面より之を試みることが必要である。即ち實際に營む動作、作業を調べてその上に疲労が現るゝか否かを調べなければならぬ。從來行はれた研究は大抵此の方面より進み知覺、或は動作の減退の度を以て、疲労を計る尺度としてゐる。之を許る單位は何を用ゐるも隨意である、グラム、ミリメートル、

秒等種々の単位が用ゐられるがその結果は大抵一致するのである。

今疲労の一般的経路を述べ之が種々の状況によつて變化することを考察してみやう、先づ之が實驗を行ふには握力計に據るを便とする、之を用ひて反覆する時は力の出方が次第に變化して行く、而してこの各の結果を統合して眺め乍せば疲労の経路を推知することが出来るのである。それから又モツソーザの指のはたらきを計るエロゴグラフに據つて實驗するのも便利である。實驗の際に於ける一時的影響を除き單に疲労のみより來る影響を受くる時は、動作或は作業は如何なる状を呈するかを調べて見ると、動作或は作業力の減退は初は緩かで或點に達すると急激になる、此急激に減退する時期は比較的長くこの時期が經過すると復た遲緩になるのである、而して又或點まで動作力が減退すると夫れ以後は減退を見ることがなくなるのである。以上の経過を圖を以て示すと左の如き

ものとなる、假に之を疲労曲線と呼ぶ事にする。



而して此曲線の形状は對數線に最も近似して居る、筋肉動作のみならず加算作業或は記憶作用或は空間を知覺する働きの疲労する場合に於ても之と同様な経過が起るのである。

疲労線は直線ではない、時間の進むに従つて作業力が正比的に減ずるならば直線であるけれども時間の進むよりも早く減るのでその線は對數線を描くこととなるのである。レーマンの言ふ所は如上の研究の結果と一致してゐる。レーマンは筋肉の作業、動作の分量が等差の級數の割合に進む時は筋肉の疲労は等比級數の割に増すとい

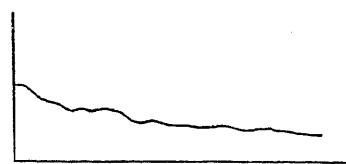
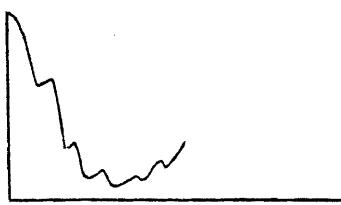
ふ事を説いてゐる、斯くの如くに疲労の増大の度が甚だ早いといふ事になれば遂に作業を營む事能はざるまで疲労すると云ふ事になり、多少悲觀せざるを得ざる次第なれど、如上の法則は一定の條件内に營まれたる作業の場合に現れて來るのである。即ち作業を營む際に一々の作業に對し最大緊張の状態を以て作業せしめ、且つ各作業間の時間を、可成短かくし、些の休息を取る事なしに仕事を繼續せしめたならば上述の如き悲觀すべき状態に陥るのである。併し吾人の日常生活に於ては斯る調子で仕事をする事は極めて稀で、力を加減し、作業を營む間は比較的長い時間を休息する、斯る時は疲労から恢復する餘裕があるから然かく憂ふるに足らぬ。然るに近世に至つて日常生活の中に最大緊張の状態を以て働く者、速記者、電話交換手等は皆この緊張の状態を以て長時間働き通さねばならない、米國の電話局などでは交換手は一時

間に三百回、一分に五回の連絡を行ひ一回の連絡にも十二種位の作用を營まなければならぬ、斯く心身共に緊張の續いた生活を行ふ場合に於ては疲労の状態は前に示した如き状態を呈し疲労過大の結果として神經過敏になり病氣に罹り易く神經衰弱、ヒステリー症等に侵さるゝに至るのである。之がために歐米諸國に於ては働く時間を短縮しその間に休息の時間を多くする法律を作らうなどといふ案が出てゐる有様である、事實斯る法律が制定されなければ、神經が衰弱して仕事に堪えざる人が多くなつて遂には社會組織を壊敗せしむるに至るのであらう。

疲労進行の標式

疲労の進み方は大體上に述べたる如くである、然れども一々の人々の疲労の進み方を研究する時は種々の標式^{タイプ}のあることを發見する。各個人の疲労線は人に依つて異り、甲の型に依つて疲るゝ人と乙の型に依つて疲るゝ人とがある、斯くて調

べ來ると大略四通りの標式のあることが分るその形を地文的の形に擬うて次の如く命名する。



(一) 平沙式、對數線の形ではあるが、恰も海濱の沙原が徐々に水面

に下り行く狀を呈す勿論多少の動搖はある、これは七歳以下の幼兒期に於ける男女兒童に多く現る、

(二) 嶺坂式、初は比較的動作

の分量多く而して間もなく急

に其分量を減ずる、對數線の

形は具へて居るけれども勾配

が急である。而して道筋の上

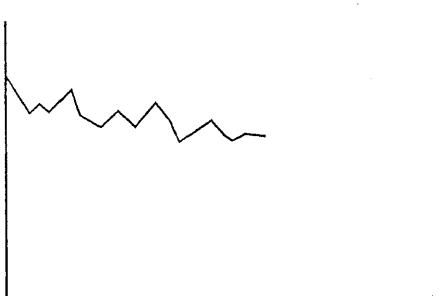
が鋸齒狀を呈してゐる、血氣

に速つて一時に多く力を出す

けれども耐久性渺く、途中で

稍恢復せんとして少し上るけ

れども又直に下つてしまふ、青年期及び壯年期の初期に屬する男女の動作は概ねこの式に據つて居る。(十四歳頃から二十四五歳まで)、この意味から此の式を青年式と呼んでも可い。



(三) 山巔式、山の頂線に沿ふて峯が出入して居るやうな形を具へたものを

いふ、これも大體は對數線を爲してゐるけれども耐久性が發達して居る、

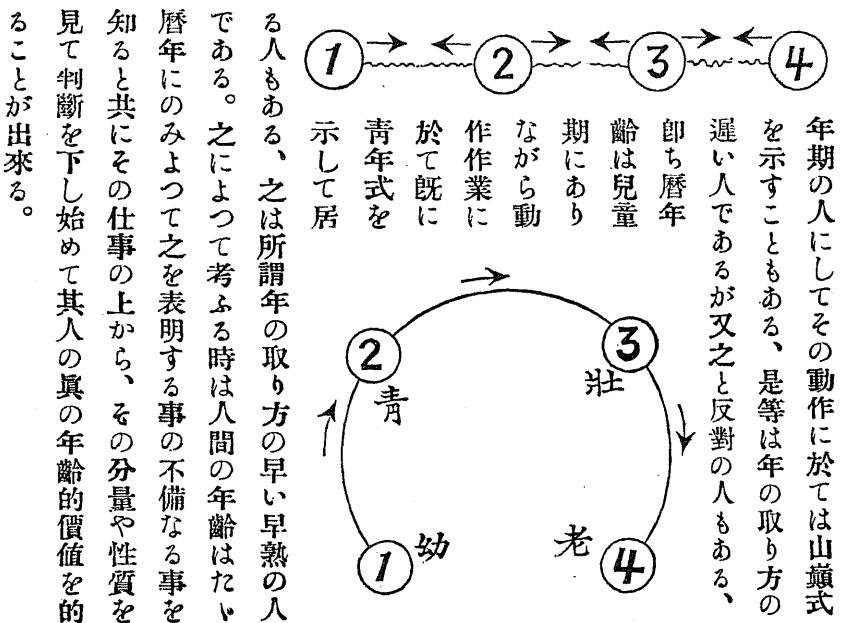
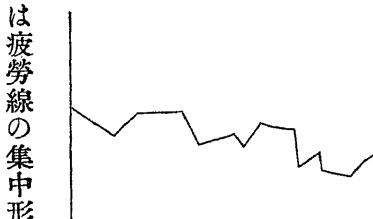
勿論多少の動搖があるけれども著しくない。この

式は多く壯年時代(二十
五歳から五十歳まで)に

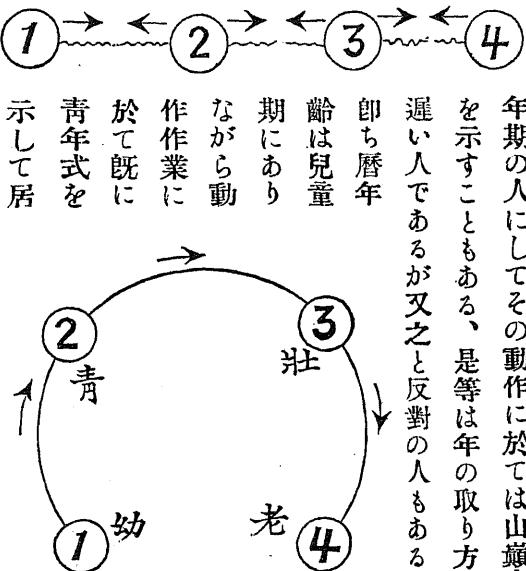
於て現れる、稀には青年時代に於てもこの式の現れることがあるが一般には壯年時代に於て現れるのが此の式なのである。

(四) 丘岡式、初は動作量は餘りに高くない、併し平式の如く低くはない、上るも著しからず、下るも

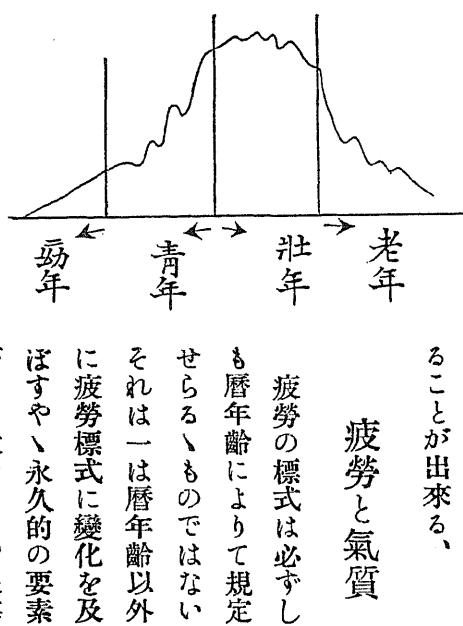
著しくは下らず、さながら丘岡の起伏する状がある、動作が小波動を作る、五十歳以上の男女に通例見る形である故に之を老年式と名けても可い。疲労の四標式は相互隔絶したもので無い、此四標式の中間段階に相當する疲労線も往々現るゝ事がある。故に標式は疲労線の集中形狀と見る可きである。圖に示す如く互に連絡を有するのである。



以上述べた四標式を一括して示すと次の如き圖



となる、各人の實際に營む作業、動作を研究してこの圖に照し合せてみれば其人が此山の何れの處に位置を占むるかを知ることが出来る、



ば同一の氣質を持続する此比較的長く繼續する氣質を取つて疲労の標式との關係を統計的に調査すれば大體下の如き傾向のある事が概括せらるゝ。

- (一) 多血質の男女、(多血質とは外的刺戟に對する情意の反應速にして弱きものである) の動作の明かな特徴は峻坂式なる事である、激烈的或は突貫的な動作には適するけれども耐久を要する動作には餘り適せぬ。
- (二) 膽汁質の(情意の反應強くして速い) 男女の動作は山巔式である、即ち強い而かも長い動作に堪えるのである。

(三) 神經質、(憂鬱にして外的刺戟に對する反應強く且つ遲し) の男の動作は峻坂式、女は山巔式である神經質の女は耐久的の仕事に堪える事が出來る。

(四) 粘液質、(外的刺戟に對する反應遅くして且つ餘りに強からず) の人々の動作は一般に山巔式で時として峻坂式のこともある、あまりハキハキしない方ではあるけれども、大體から云ふと一方に遍

せず突貫的の作業にも耐久的の作業にも或る度までは堪えるのである。

(五) 幼弱時期に於ては氣質の傾きが明かでない、從つて氣質と幼弱式との關係は明かでない、又之を決定する必要もないやうである。

疲労經路の一時的變化

氣質が疲労の標式上に及ぼす影響はやゝ永續的なれど、尙疲労の經路は身心の種々の狀況に應じ一時的の變化をなす事がある。

(一) 身體の狀況中著しいのは食前と食後とである、食の前後を比較して見るに食後には食前よりも動作力を増し耐久性をも生じて居る、疲労の標式も峻坂式の人が食後には山嶺式となる、或は食前にも食後にも同じく峻坂式を示してゐても食後に於けるその勾配は食前に於けるそれよりも遙かに平かになつてゐるのである、即ち食後は仕事の耐久力が増加する。

饑餓の狀態に陥ると一時動作力は増大する、饑餓狀態に於ける動作を實驗的に研究するのは頗る困難であるが、文學士河内幸憲氏が京都大學の實驗場に居られた頃二十四時間の斷食を爲しその前後に於て動作業に對する疲労の狀態を検した所が饑餓後の記錄の方に於て作業力の増大及び耐久性の増加する事を發見した。これに由つて觀ると輕度の饑餓の場合には作業力耐久力の増加するものなることを知ることが出来る。尤此事は尙多數の實驗をなしたる後にあらざれば最後の斷言はなし難いのであるが、兎に角或る場合には輕度の飢餓は作業力を増加するのである、此事實の説明は饑餓時に於ける精神作用の興奮の増大に求むる事が出来るかも知れぬ。即ち人間も動物も饑餓に際しては一時に神經が興奮して感覺も一層鋭敏になり爭鬭性を増し、身體も靜止する能はざるに至る。飢餓の時かゝる興奮狀態を呈するに至ることが、動物の生存を維持するに必要である。飢えて興奮

的争闘的になるが故に他の動物と闘ひ食物を獲取するに至るのである。要するに作業力の増加は營養の適宜なるために来るものとその缺乏のために来るものとの二種ある、前者は正常の状態にして永續的、後者は一時的にして病的である。兩者共に人間、動物を生存せしめんためには必要なるのである。

酒精は一時動作力を増すけれども病的である、

營養不足と飲酒とは身體内に有害物を生ずる、此の有害物が神經を刺戟する爲め一時的興奮現象を生ずるやうである。或る學者は都會生活は疲勞多く、都人士は酩酊狀態にあると言つて居る。

(二)動作力を一時的に影響するものは精神的方面に

於ても亦之を認むるを得る、即ち數學問題の解釋の如き、或は哲學、心理問題の考察の如き稍困難なる智的作業を二三時間に亘りて營み其前後に於て動作疲勞の経路を比較する時は概して動作力減じ且耐久力の減ずるを認むる。動作の標式山巒式な

りしもの峻坂式となり、或は峻坂式が丘岡式に變ず、要するに智的作業の後には一時意志的動作を營むに不適當なる状態に陥るのである。併し智的作業を營む際何等かの原因により感情甚しく興奮する如き場合に於ては、其智的作業後一時動作力増加する事がある。

練習

長い時間連續して仕事をする時は疲勞を生じて遂には作業を營むを得ざるやうになるけれども、普道は仕事の間に休息睡眠が適宜に安排されて居るので或る度まで疲勞を愈やし連日の作業を繼續するを得る。

休息睡眠以外に疲勞を除く上に於て有効なるものがある、それは作業を繼續して居る間に疲勞に對する抵抗力が發達して來る事である。或は作業に對する耐久力が發達すると謂ふを得る。この事實に應する如き生理上の面白い現象がある。即ち

筋肉が動作を營むと血液中に急に吸收されざる一種の毒素を生ずるのである、筋肉の燃焼作用より生ずる炭酸瓦斯ではない、疲労素と呼ぶ一種の毒素でデフテリアの毒に似たものである、而してこの毒素が血液中に存在するため筋肉の活動が著しく妨害さるゝに至るのである、然るにワイヒヤルトの説に據るとこの毒素の發生すると共に一方に之と反対なる解毒素が體中に發生する、この解毒素が前の毒素の働きを消滅せしむる、疲労に對して耐久力の生ずるのは或はこの解毒素の發生に關係して居るのであるかも譯らぬ、疲労は一種の病氣である、然るに此病氣に罹ると解毒素が發する爲め或る度までは免役性が出來る如き趣がある、然しながら此解毒素發生説は未だ確定しては居らないよし解毒素の發生があつたとしても、疲労に對して耐久力の發生するのは解毒素のためのみではない、多くの材料に就いて觀察を試みた所によれば神經系統内に勢力の消耗に對する填補作

用が成立する爲めか對久力が發生するのであると推定する理由が存して居る。或る仕事を營む時は神經系統内の一局部から力を出して働いて居るのであるがその部分が疲れる時は他の局部から補充の力が入つて来る、局部の力にのみ依頼する時は疲れるけれども他局部の供給がある爲め疲れを防ぐ事が出来る。耐してなほ動作を繼續すると更に廣い範圍より力を補充し、且補充以上の力を供給する道が開ける斯く動作を繼續する爲めに補充區域が擴大し耐久力が増大し疲労の發生を防ぎ從つて一定時間内に於ける仕事の分量が増加するを得るのである。

耐久性の增加とは作業力の増大とは作業の繼續或は反覆に依つて生ずるのである、耐久性の發達と作業力の増大とを合せて練習の効果と稱するのである、この二者以外に作業の性質も佳良になるが、性質の事は茲では姑く省く事にする。

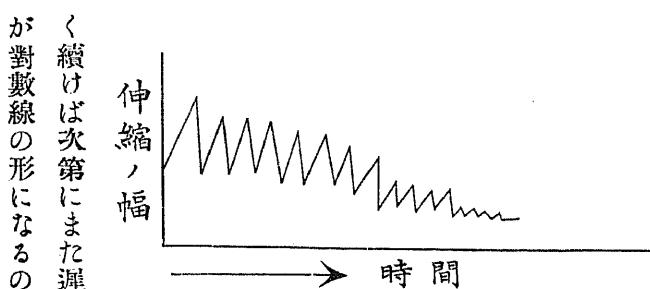
今耐久性の發達と仕事の分量の増加に就て考ふ

るに、耐久性が發達すれば疲労に對する抵抗力を増して疲労を輕減し或は之を消滅せしむるのである。練習をせぬ人は貯蓄せられたる力があり餘りながら忽ちに疲労を來たして仕事が出來なくなるものである、即ち力のある限りを利用することを知らぬからである、練習を積んだ人は蓄積せられてゐる全部の力を絞り出して使ふことが出来るのである。

モツソ一氏のエルゴグラフにより指頭の伸縮を研究すれば如上の關係を明にするを得る、指頭の反覆伸縮を一定時間繼續すれば最早指は動かなくなる、丁度圖に示した様になるのが練習を積むと圖の形が變る、即ち伸縮の幅が次第に大きくなり又は長い間繼續することが出来るやうになる、毎日指の伸縮動作を練習し一ヶ月も繼續すると、或る時間には練習の効果が伸縮の幅を増す方に現れ、或る時間には伸縮継続時間を増す方に練習の効果が同時に此兩方に現れる。斯くて一ヶ月位

の練習により、動作繼續時間は最初の四倍に達し、伸縮全延長も最初の四倍位になる。尤此增加の工合は個人々々より多少變化するのである。

練習に依つて作業量の増す徑路を概括して見る



と疲労の進行とは丁度正反対になる作業量の進歩は最初は速く後は比較的遅くなつてこれがしばらく續けば次第にまた遅くなるのであるから其徑路が對數線の形になるのである。

練習の初期は作業量急速の進歩を爲せど時期の進むに従ひ進歩の割合減少し、遂には殆ど進歩を見ざるに至る、此點以後は運日練習を重ねるも、作業量は殆ど變化なく停滞状を呈する、之を練習

の高原といふ。一々の具體的場合を取て見れば高

原状態は二三回起り、練習の効果は段階的になる事あり、即ち一度進歩が止まつても練習を重ねることを怠らざれば再び進歩の状況に達する、斯く高

原状態の生ずるは何故なるか、精力補充區域の擴大するは局部精力の發射が最大點に達して後一定時期を経過せざれば起らざるが爲めであると余は考へる。他の人を教育し或は自己を教育するに當て、其効果の現るゝ時機の到来を待つ事が必要である。教育者が効果の現るゝ事を性急に望む爲め被教育者は種々の壓迫を感じ其害毒を蒙る事がある。練習により一般に作業量は増加せしむるを得るのであるが、其練習線が一様に直進するか、段階的に進むか、或は動搖的に進むかは人々により異なる、練習の方にも矢張數種の標式が立てられるのである。

結語

實驗的條件内に縮圖的に現れる練習及疲勞を含蓄したる作業の標式を人間の一生涯擴大複寫し、人間の作業を解釋して見ると大略五種の差別がある。

第一種の人は仕事の力が初は爾かく大ではないが年と共に增大して老境に入るまで進歩が止まらず、一生に亘りて着々功を收むる類の人である。

第二種の人は若い内は仕事に對する能力が相當に備つて居つたのが年を取ると共に漸次衰へ、老境に到り益不成功失敗に陥る類の人である。

第三種の人は最初から能力が寧ろ渺く歲月が進んでも格別の進歩もなく進歩もしない、これはかなり多く、生ま温るいにえきらぬ様な状態で一生を過ごして仕舞ふ人である。

第四種の人は初めは仕事の能力が餘り著しくなかつたが中年に入つて非常なる能力が發達し人を驚かしたが未だ老境に達せざるに其人の作業力は頓に失墜して再び其力を挽回し得ずして一生を終

る類の人である。相撲取り、政治家などに此類例が往々ある。

第五種の人は最初は仕事に對し相當の能力を有して居つたが中年前後の所にて其能力を失ひ蹉跎として見るに足る成績を示さない、然るに中年の終より突如として大なる作業力を發揮し恰も夕陽の大光輝を放つて山後に没するが如く世の喝采場裡に其生涯を終ふる類の人である。

是等五種類の區別は人間の一生に於ける極く廣く且つ複雑なる意味に於ける疲労と練習の兩要素が時期を異にし、相損益するより生ずる結果である。結局疲労練習の二要素が人間の一生涯に於て

如何に按排せらるゝかによつて所謂人間の運命が定められる。尤も朝家を出る時間の僅かの差によつて災禍を免れ得なかつたなどといふ世間の出来事に徹してみれば一分一秒の間に事件が發つて人間の運命を定める事もあるが斯る一時的の偶然の原因は別として人の運命を定むるに疲労と練習の二つが大なる力を有して居る、而して此兩素の按排の具合を定めるものはその人の作業素質とその人の棲息する時間並びに空間的境遇の還境である素質と境遇との接觸的關係から我々個々人間の一生の運命が定まると云ふ事は何人も承認する事實であらうと考へる。

『菊ちゃんの新遊嬉』(一)

これは Alcott 女史の Little Men 中のある部を出したのであります。

||英文學に現はれたる子供(三十一)||

岡田みつ

「菊ちゃん、如何したの」。

「男の子が仲間へ入れて呉れないの」。

「何故入れてくれないの」。

「女の兒にはフート・ボールは出來ないって」。

「出來ますとも。伯母様はやつた事がある」と言ひながら、伯母さんは昔遊び跳ねる時の事を思ひ

出して笑つた。

「私も出來ると思ふんですよ。御兄様と私とで先

によくやつて、面白かつたんですもの。だけど今はさせて下さらないのよ。他の男の子が笑ふ

もんで」と、菊ちゃんは兄の無情を怨むでゐる氣に見えた。

「まあね、兄様にも無理はないんです。御前と兄

「母様や赤ちゃんには逢ひたいんですけど、やつぱり此家へ歸つて來た方がよい。兄様が必然淋しがりますもの。私も此處が好きよ」。

様と二人の時は差支ないけれど、十人から上の男児と一所では手荒すぎて不可ません。何か別に一人で遊んだら宜いでせう」。

「獨りで遊ぶのはもう厭になつてしまつたの」と菊ちゃんの聲は沈んでゐた。

「ちきに伯母様が一所に遊んで上げますよ。今は大急で市内へ行く支度をしなければならないから。御前の母様の所へ行くのですから一所にいらつしやい。そうして若かしたら暫く泊まつて來ても宜い。

「まあね、兄様にも無理はないんです。御前と兄

「兄様の傍でなくては暮らせないのね」と伯母様は此少女が只一人の兄を此上ないものに思ふ心をよく會得して居るやうであつた。

「それはさうよ。兄妹ですもの」と菊子は元氣付いた顔をした。

「伯母様が支度をする間に何をして遊びます」。

「何をしませう。人形や何かももう飽きてしまつたから、伯母様何か新しい事を考へて頂戴な」と菊子は、戸の取手にぶら下つて何の氣乗りもしないやうな風をした。

「何か新工夫をしなくてはならないから、少し時間がかゝりますよ。だから一寸臺所へいつて御晝食の御馳走は何だの見ていらつしやい」と伯母様は勧めた。一かうでもして暫時可愛い、厄介物を遠ざけやうと思つて。

「エシャ(料理掛りの女中)が五月蠅いといはなければ見にいつても宜いわ」と菊ちゃんはぶらぶら臺所へ出掛け行つた。

五分程して、菊子は大元氣で戻つて來た一手に捏粉の一塊を持つて、鼻の先へ饅飴粉を塗付けて

「伯母様！あの御菓子を製造^{こうぞう}へてもよう御座いますか。エシャは怒らないで、拵^{こしら}へても可いつて云ひましたよ。面白さうだわ。ね、伯母様宜いでせう」と一呼吸^{いきき}に言ひ續けた。

「それは何よりな。おゝ、宜いとも、何でも好きなものを御作りなさい。いつまでしてゐても宜いんですよ」と伯母様はほつと安心した。

菊子は走り去つた。伯母は用事をしながら何か新しい遊びは無いかと智恵を絞つてゐたが、急に妙案でも浮んだと見え獨り笑んで、簞笥の抽出しをハタと閉めながら「出来るものなら一つ爲て見やう」と獨語した。

新案の遊びは如何なのだか誰も知らなかつた。

唯伯母はよい事を思ひ付いたからそれを買ひに行くのだと菊ちゃんに話して愉快さうに眼を輝かすので、菊ちゃんは好奇心を起^こして市内へ行く途

中いろ／＼問ひ質したが、伯母様は要領を得ぬ返事ばかりして居た。實家に着いてから菊子は赤坊と遊んだり、實母を嬉しがらせたりしてゐる間に伯母様は買物に出て行つてしまつた。やがて妙な

菊ちゃんは伯母様と二人馬車で搖られ／＼歸る途中、何だか馬車の後部のあたりで、ゴト／＼音がしたので忽ち耳を欹て、

「何でせう。あれ」

「新しい玩具さ」と伯母様は眞面目で答へた。

「何で出來てゐるの」。

「鐵やブリキや、木や真鍮、それから御砂糖に、鹽に、石炭に、その他いろいろのもので」。

「まあ變ね！ 色は？」

「いろ／＼様々の色があるの」。

「大きいの」。

「大きい處もあるし、さうでないところもある」。

「まあ、何でせう！ もう待ち切れない。何時見せて下さるの」と菊ちゃんは自烈つたさうにね上つた。

「明日ね。御稽古のあとで」。

「男の子も一所に遊ぶの」。

二人で大笑ひをなすつたので、菊ちゃんは益々譯が分らなくなつた。

「菊ちゃんや。大人しくしてね。伯母様が買つて打明けなすつたか分らなかつたが、母様は承知の様子で「さやうなら」をする時に、母様つてば、

「菊ちゃんや。大人しくしてね。伯母様が買つて下すつた玩具でよく御稽古なさいよ。それは面白くて利益になる遊びだから。伯母様が一所に遊んで下さるなんてほんとによい伯母さまだね

そんな事は嫌ひの方だのに」と言つて伯母様と

二人で大笑ひをなすつたので、菊ちゃんは益々譯が分らなくなつた。

少しは仲間へも入りたがるでせうが、入れても入れないでも御前の勝手でよろしい」。

「では兄様が入りたいといつたら、入れて上げやう」。

「皆入りたがるに定まつてゐる。殊に肥大さん(子供の異名)なんかと」。言つて伯母様は、さも可笑しきうな眼付をして、膝の上の角張つた一包みを撫でた。

「一寸私に觸らせて頂戴」。

「一寸でもいけません。すぐ當てゝしまつて詰らなくなるから」。

菊子は落膽した。包紙の孔からピカ～光つたものが一寸見えたので、忽ち満面に笑みを湛へた。

「とても、そんなに長く待てないわ。今日見る譯に行かないんですか」。

「どうして〜。ちゃんと並べたり、いろ／＼取付けたりしなければならないから。それにす

つかり飾り付けてから菊子に見せますと伯母様はテデー伯父様に約束して來たのですもの」。
「テデー伯父様が御存じの玩具ならきっと良いのにならがひない」。

「そうですとも。テデー伯父さんが一所に行つて買つて下すつたのでね。あれこれと撰り取るのに隨分面白かつたんです。あの伯父様は、何でも上等の大きな品ばかり買ふのだと仰つてね……こんど、御出の時はよく御禮を申さなければいけませんよ。あんな好い伯父様はありやしない。

態々あんな可愛い、御料…………おつと、も少しで言つてしまふところだつた」と伯母様は大事な語を中途で飲み込んで仕舞つて、この上饒舌ると檻樓はやぶらを出すとでも思つたらしく勘定書きを調べ出した。菊子は諦めたといふ風情で、腕を組んで「リヨー」といふ字の付く遊びつて何だらうと考へ／＼静座してゐた。

家に歸り着いてから、出て來る紙包を一つ／＼

熱と見てゐたが別けても一つ重い大きいのをフランツ(従兄に當る男兒)がすぐ二階の遊び部屋へもち込んで行つた此上なく不思議に思つた。其日の午後は遊び部室に何事かあると覺えて、フランツが金槌を使ってコン／＼叩くしエシャが階子段を

上つたり下りたりするし伯母様は前掛の下へ種々の物を入れてチラ／＼往來するし、幼い貞ちゃんだけは室の中へ入るのを許されてゐたが、いくら尋ねても舌がよく廻らないので、たゞ笑つてババババといつて「さえい／＼」と教へてゐた。

菊ちゃんはもう氣が狂ひさうになつた。その興奮が男兒達の中にも傳染して、皆急に伯母さんに御手傳ひしませう／＼と申込んで來た。それを伯母さんは、先方が菊ちゃんに使つた語で一々断つた。

「女の子は男の子と一所には遊べないでせう。これは菊ちゃんと伯母さんの遊びですから、御前方に用はないの。」

さう言はれて男達は詮方なく引下つて、急に菊ちゃんを呼んで、石彈、馬ごっこ、フントボール、何でも好きな遊びに入れてやると親切懇懃に言ふので、菊子は如何した譯かと無邪氣な心に只呆れてゐた。

男兒達の好意の御蔭で、その日もどうかかうか過ぎて菊ちゃんは早く床に就いた。翌朝は菊ちゃんが御稽古を非常の意氣込みでしたので、伯父様は毎日新しい遊びが發明されて欲しいものだと思つた。十一時に御許可^{ゆるし}が出て菊ちゃんだけ勉強室を出た時に今こそ菊ちゃんが新らしい珍妙の遊びをするのだと一同が思つたので、室内に一つの動搖が漲^{みあが}つた。

子供は皆菊ちゃんが走り去る姿を見送つたが中でも菊子の兄は其の方へ心を奪はれてしまつて、サハラの沙漠は何處にあるかと問はれた時に、なきなさうな聲で「遊び部室に」と答へて一同に笑はれた。

「伯母さま、もう御稽古が済みました。私一分も待てない」と菊子は伯母の室へ跳り込んだ。

「ちやんと出来てゐますよ。さあ、いらっしゃい」と伯母様は貞ちやんを片腕に抱き、片腕に縫物を抱へて二階の室へと先へ立つて歩いた。

遊び部室の入口に立つて、菊子は見廻した。

「何にも見えないわ」。

「何か聞こえるでせう」。伯母様は言つた。——小さい貞ちやんがさつきと室の一方へ進まうとするのを、着物を引張つて引止めて。

菊ちやんはバチ／＼といふ音と、鐵瓶が煮立つやうな音を聞いた。その音は張出し窓の前に垂れてゐる窓掛の後から出たので、菊子はさとそれを引開くとアラ！と言つたざり悦びの眼を見張つた！

張出し窓の三方に棚様のものが出来てゐて、右手には大鍋、小鍋、鐵鉢、長柄鍋の種々が掛けてあり、右手には、食事道具と茶道具が一式並べて

あつて、中央の臺には料理用の竈が据ゑてあつた。玩具的の役に立たない竈ではなくて眞の鐵製の、大家族の人形の一家にも、もう十分間に合ひさうなのであつた。何がよいとて、その竈の中で眞實に火が燃えて居て、小さな鐵瓶の口から湯氣が立つて蓋が跳りを踊つて御湯が中でブク／＼言つて居るのに越した事はなかつた。窓ガラスを一枚外したあとへブリキ板を一枚嵌め込んで其に明けてある煙突の孔から、眞の煙が眞實の通りに SSTと出て行く處が何とも言はれぬ程に宜かつた竈の傍には、薪と炭とを入れた小箱が、置いてあつて、少し上部の處には、塵取や小箒が下げてあつた。而して菊ちやんが平常遊びに使つてゐる卓子の上には、買物用の籠があつて、椅子の後部には白前掛と被り物とが引掛けてあつた。日は射し込む、火はバチ／＼いふ、鐵瓶は湯氣を立てる、金物が光る、陶器は行儀よく並んでゐる……之ではどんな子供でも心の奥まで満足しさうである。

菊ちゃんはアラ！と一聲言つたぎり、眼ばかり
動かせて、次から次へと物品を見て行つた揚句に
伯母様の顔を見た。急にそのそばへ駆け寄つて抱
き付いて

「伯母様！ほんとによい玩具よ！私ほんとに
此處で御料理をしたり、御客様をしたり、掃除
したり、ほんとの火を焚いたりしても宜いの？
ほんとに嬉しいわ〜。どうして、伯母様お考
へ付さになつたの？」

「御前が、エシャの處で御菓子が拵へたいと御言
ひだつたので思ひ付いたのさ」と伯母は菊子が
飛び去りさうに跳ね廻るのを押へながら「エシ
ヤだつて、さう、始終臺所で御前を遊ばせても
くれないだろうから、小さい竈をこゝへ置いて
伯母様が御料理の仕方を少し教へて上げたら、
面白くて利益ためにもなると想つてね、方々の玩具
店を驅け廻つて探したのですよ。處が、中々物が
高價で困つてしまつてもう止めやうかと思つた

處へ、テ・デー伯父様に御目に掛かつたから、こ
れ〜の譯でと御話したらば、それでは加勢を
すると仰つてね、一番大きな竈を買ふのだつて
強情を御張りになつたり何かしてそれから種々
な小さな細かいものまで皆買つて下すつたの」。
と言つて伯母様は、その買物の可笑しかつたのを
思ひ出して笑つて居た。菊子は、
「まあ伯父様に御逢ひになつてよかつたわね」と
言つた。

「ですから、よく精出して、いろんなものが御料
理出来るやうにならなくては。伯父様が時々御
茶の御馳走になりに来るから、美味しいものを澤
山頼むと仰つて御出でだつた」。

「こんなよい臺所道具は世界中にないわ。私、もう
もう一生懸命に何よりもかよりも勉強するの。
「ハイだの御菓子だの、もういろんなものを抱
へても宜いの」と菊ちゃんは、片手に御鍋を、片
手に火搔棒かざおを持つて、室内を踊り廻つた。

「順々にね。伯母さんが教へて上げるのですから

御前は、私の宅の料理女の積りですよ。伯母さ

んがかうなさい、あゝなさいと指圖をするその

通りにすれば、ほんとに食べられるものが出来

て、よい御稽古になります。御前はサリーとい

ふ名で、今御目見えに來たところさ、ね。」と伯

母様は、早速仕事に取り掛つた。貞ちゃんは、
指を譽めながら、籠を生き物とも思ふらしく、
珍らし氣に眺めて居た。

「まあ面白い！ 何を先へいたしませう」とサリ

ーは嬉し氣に、骨身を惜しまず働きさうな態度

を見せたので伯母さんは眞の料理人が、この半分
も可愛らしく素直だつたら宜かろうにと思つた。

「まづ此清潔な被物と前掛を御當て。私や、古風

かも知れないが、料理人が小瀟洒した形をして

ゐるのが好きだから」。

サリーは早速丸い帽子の中へ髪の毛を疊み込んで

いつもは厭がる前掛を、文句もいはずに掛けた。

「それから、そこらを片付けて、新しい皿鉢を御
洗ひ。」

サリーは袖口をまくつて、嬉しい歎息ためいきを一つして

臺所で働き出した。時々「まあ可愛い、麪棒のしだ！」

「まあ可愛い、桶だ！」「なんて小さな胡椒壺ごとうだ！」

「などと喜悦の聲を上げてゐた。皿鉢が片付いた
のを見て、

「さ、サリーや、その籠をもつて買物をして来て
おくれ。御晝食に入用の品を書付けにして置い
たから」と奥さんは紙片を渡した。

「どこで買ふので御座います」といひながら、菊
ちゃんは、新式の遊びがいよく益すく面白く
なると思つた。

「エシャの處で」。

サリーは出て行つた。他の子供の稽古をしてゐる
室の前を、料理女の服装で通つたので、また室内
響動き渡つた。菊ちゃんは、笑み溢れた顔をして、

兄様の耳元で、「ほんとに面白い遊びよ」と囁いた。(つづく)

此頃流行る小供の病氣

醫學士 石塚保吉

夏向きになると子供の消化器病が多くなつて来て往々瘦弱のやうな恐ろしい病氣も見舞つて来ます。

氣候が暖かになると黴菌の繁殖力が烈しくなつて來るので、少しの事が原因になつて直に下痢を起したりします。何か腐つたものかいけないものを食べなければ腹はこわれるものでないなど、考へて居る人があるやうですが必ずしもさうばかりとは限りません。普通のものを食べて居ても、その取扱がわるかつたり、時間や分量を過つたりすると下痢を起します。

以て直に病氣そのものと速断するやうな傾きがあつて、下痢を見ても下痢そのものを病氣だと心得て、蔭にかくれて居るほんとうの病氣には気がつかないやうです。然るに其實下痢は自然の排泄作用で、腸内においてわるいものを驅逐して腸を安全に保護しやうとする大事なはたらきなのです。素人のみならず、甚だしきは醫者が之を止めたりする事がないともないでもさうですが。それは大變な眞違ひです。寧ろ下剤をかけて自然の作用を助ける位にすべきです。

それから下痢の間は腸の中が病氣の爲めに變化して居て、しばらくは普通の食物にたへられないからなるべく消化のよいおも湯かくづ湯のやうなものを與へるやうにするがよろしい。今一つは下痢のない腸の病氣がありますから、之に注意しなけ

下痢の手あて

についても世間で過つた考へをもつて居りはせぬかと思はれます。素人考へでは目に見える現象を

ればなりません。腸の病氣と云ふと下痢をするにきまつて居るやうに思ふも真違ひです。却て下痢のないの方が病氣が重ひのです。こんなのは下剤をかけるとか灌腸をするとか手あてをしなければなりません。

それから下痢と云つて軽々しく考へるといふ事も善くなりません、重大な結果を來す事がありま

す、現に昨日私の處へ入院して、今朝死亡した子供など、二三日以前から下痢をして居たが熱がさほどでもないから、そして元氣も大してわるくもないからといふので醫者にも見せずそのままにしておいたといふのです。昨日になつて俄に様子がわるいからといふので、私の處へつれて來たのですが、三日間に手あてがしてないので、腸の中の黴菌が非常な勢で繁殖して、疫痢のやうな猛烈な中毒症を起して、時間と共にだんご、わるくなつて遂に今朝亡くなりました。熱が少いから、單に下痢だからと云つて放下しておくと、恐ろしい結

果を來す事があるからとにかく子供の病氣は早く醫者にかけてたしかめておく必要があります。機嫌が急にわるくなつたりした時には目につくやうな病状がなくとも、また熱がなくても、是非一度醫者にかけておく方が安全であります。

寝冷え

氣候が不順になると寝冷えの爲めにいろいろの病氣にかかる事があります。風邪を引いたりインフルエンザになつたり、腸かたるを起したりします。寝る時は暖かつたのが、途中で空氣が冷くなつたり或は暖かく蒲團をきせておいても途中でぬけ出したりして、冷えたのが原因になつていろいろの病氣になります。それで最安全な方法はねびえしらずと云ふやうな手も足も胴も一所にくるんで、夜具の外へころがり出ても、冷い空氣が皮膚に直接觸れる恐れのないやうにしておく事です。風を引いちやいけないと云ふので、むやみに着物

を着せたり、蒲團をかぶせたりすると、暑いので夜中に飛び出すから、なほ風邪を引く結果になります。

寝冷えが原因になつて起る病氣は前にも云つた通りいろいろあるのですが、此頃流行るのは扁桃腺の腫れるのです、インフルエンザも大分あります、インフルエンザは傳染性のものですが、どうも身體に弱點のある時にくつつきやすいです。

高い熱が出て急に衰へて何だらうと驚くやうな症状を呈する事もあります。水痘もちよい／＼あるやうですこれも一種の傳染病ですが、大抵は二週間位でなほります。養生は清潔な空氣の中に居て相當に暖かにして居る事です。やわらかい消化のよい食物を取るのは申すまでもありません。

傳染病と幼稚園

幼稚園や學校は傳染病の媒介所になると云はれて居りますが、全くさうでないと云へない場合も

あしませう。ちふすと赤痢とか云ふやうなひどい病氣は病院に入れて取り締まるやうになつて居りますが、百日咳とか麻疹とか云ふやうな種類になると、往々學校や幼稚園が傳染所になる事があるようです。かういふ病氣は病氣を感じる時期が短いので、苦痛がなくなると、もうなほつたつもになつて、まだ傳染毒が残つて居ても平氣でどん／＼學校や幼稚園に出かけてゆく。そして、つひ學校や幼稚園を病氣の間屋にしてしまふのです。それで本人が苦しい時期を経過してしまつてからも、一定の時期はあまり外出をさせないやうに、幼稚園や學校や人込みの中へは断じて出さないやうに嚴重に取り締りたいもので御座います。

第廿二回京阪神三市聯合保育會提出遊戯ノ歌曲（京都市保育會之部）

御大典（準備 一列圓形）

一、大きくなつたら

一 行進曲ニ從ヒ圓心ニ向ヒ前進退歩（八呼間）終リ
ニ右向ケトナル

兵士となつて

一 通常歩ニテ行進（八呼間）終リニ圓心ニ向ク
一 圓心ニ向ヒ前進退歩（八呼間）終リニ右向ケトナル

おつかへ申す

ル

天皇陛下の

一 通常歩ニテ行進（八呼間）終リニ圓心ニ向ク
大きくなつたら（兩手ヲ腰ニシ舉踵二回ニシテ兩手ヲ下ス）

御即位よ

兵士となつておつかへ申す（鐵砲ヲ右ノ手ニ持ツ形ヲナシ足踏ヲナス終リテ下垂ス）

祝へ祝へや

天皇陛下の（掌ヲ上ニシ兩手ヲ前ニ上げ上體ヲ前ニ屈シ敬意ヲ表ス）

萬歳

御即位よ（最敬禮ヲナシ終リテ直立）

祝へ祝へや

祝へ祝へや（拍手シツツ圓心ニ進ム）

萬歳

萬歳（兩臂上舉二回）

萬歳

祝へ祝へや（拍手シツツ退歩）

萬々歳（兩臂上舉二回）

一 通常歩ニテ行進（三十二呼間）終リテ右向ケトナル

花賣

卜調四分ノ四

3 5 1 3	2 2 2 3 2 0	1 2 3 4 5 5 5	1 2 3 0	3 0 5 0	5 2 3 1 0
京ノ坊チヤン	ミテオクレ	ハナミノナカノ	ハナチ	ソ レ	ウノハナ
京ノ嬢サン	ミテオクレ	ハナミノナカノ	ハナチ	ソ レ	ウノハナ
3 0 1 0	2 1 6 0	1 1 5 1 1 6 6	5 5 6 7 1 0	1 3 5 0	7 7 1 0
ソ レ	ツバキ	アカイツツジモ	アリマセウ	ドレガ	オスキ
ソ レ	ツバキ	アカイツツジモ	アリマセウ	ドレガ	オスキ
3 5 1 3	2 2 2 3 2 0	1 1 5 1 1 6	5 5 6 7 1 0		
ワタシハシロイ	ハナガスキ	ソレチヒトツ	クダサイナ		
ワタシハアカイ	ハナガスキ	ソレチヒトツ	クダサイナ		
3 5 1 3	2 2 2 3 2 0	1 2 3 4 5 5 5	3 5 1 3	1 1 5 5 1 1 6 6	5 5 6 6 1 0
マサシヨイノヲトリマシタ	ノコツタハナハ	ツルツルツル	ツルツルツバキデ	ヨグスペル	

見ておくれ花箕
中の花をソレ
うの花ソレ椿赤
いつゝじもあり
ませうどれがお
すき
京の嬢さん見て
おくれ花箕の中
の花をソレうの
花ソレ椿赤いつゝ
じもありませう
どれがおすき
私は白い花が下
きそれを一つが下
私は赤い花が下
きそれを一つが下
さいな
みなさん
みのを
残つた花はツル
ルツル椿
でよく

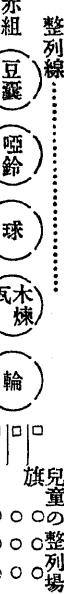
京の坊ちやん見ておくれ花簪の中の花な。(左手ニテ右向ケトナリ)
通常歩ニテ行進終リテ内ニ向テ止リ頭上ノ手
ソレ椿(椿の花ト持チ代ヘテ右手ニテ示ス)
赤いつじもありませう(つゝじ)の花ト持チ代
どねがお手ニテ示ス(種々ノ花ヲ右手ニテ持チ始メハ
組合ノモノニ次ハ隣組ノモノト見セ合ヒチナ
京の櫻さん見ておくれ花簪の中の花な。(右手ニ
テ持チタル花ヲ頭上れ花簪の中の花な。(右手ニ
常歩ニテ行進終リテ内ニ向テ止リ頭上ノ手ヲ
下枝(花の花ト持チ代ヘテ右手ニテ示ス)
ソレうの花(うの花ノミチ右手ニテ示ス)
赤いつじもありませう(つゝじ)の花ト持チ代
赤へて右手ニテ示ス
どねがおすき(躰體ニテ全物ヲ地ニ置ク)
それば一いつ下さいな(うの花ヲ取り左手ニ持ツ
私には赤い花がすき(うの花ヲ左手ニ持チタルマ
り右手ニテ赤い花ヲ指サシテ拍手三回)
それな一つ下さいな(じの花ヲ取ル)
皆されぬよい花を取りました残りシ
椿ノ花(花の花ヲ取る)を全部左手ニ持チ組合ノモノト相
對ス)
ツルツルツルツルツルツル椿でよくすべる(ス
ケーチング、チナス)
蝶々(後列生チ一名多クス)
前列生ハ花トナリ後列生ハ蝶トナリタ
止ミタルヲ止マリシテ自由ダムノハ花ノナリタ
タリニ出テ接拶チナサシム次ニ花ノモノト蝶ノモ
ノト交代シテ前ノ如ク動作チ繰返ス

第二十二回京阪神聯合保育會提出遊戯及歌曲

(大阪市保育會之部)

二、玩具六種(例へば豆蔻、啞鈴、球、木煉瓦、輪、旗等何にても可なり)

準備 児童 児童數三十人とせば一組十五人宛二組に分ち又之を五人宛の三組に分ち左圖の如く整列せしむ
用具 大なる竹輪五個宛二列に同間隔に整置し其中に同種の玩具同數を配置し尙整列場の前に旗五本を整置す



方法 児童の整列及用具の準備を終へて樂器の合圖に依り唱歌

を合唱し笛の合圖に依り動作を始む、第一列の者は直に前面の旗を持ちて最近の第一圓内に置き其圓内の輪を取りて第二圓内の木煉瓦を取りて第三圓内に置き順次第五圓内に置き換へ第五圓内の豆蔻を持ちて出發點に歸り第二列の者に渡し第二列の者は之を受け取りて前法の如くして各整列線に就き互に對向せしむ、第三列の者は最後に持てる用具を出發點の場所に整置して後整列線に就かしめ全兒童早く整列したるもの勝者とし萬歳を唱へしむ

我等の好きな運動具
間違なへいやうよく氣をつけて
澤山ならべて置き換へませう
みんなで仲よく遊びませう

用具名稱 置換遊び
協同の美風を養ひ身體諸機關を機敏に活動せしむ
一、大なる竹輪又は之に代ふるに地面に圓形を畫す

備考 本遊戲は兒童各自の草履を集めて置換をなし遊び居れるを見て草履に換ふるに玩具を以てし漸次斯の如き遊戲をなすに至りしものなり
注意 児童數の多寡に依り玩具の數並に各組數及び列數を適宜増減す

二調 四分ノ二拍子 拍子譜 置換遊び

0	-	0	-
2	グ	5	マ
5	5	5	マ
5	5	3	ウ
5	5	3	ウ
6	6	5	ケ
6	6	5	テ
1	セ	1	セ
0	ウ	0	ウ

凱 旋

(旗を以ての運動)

1. 兩旗ヲ肩ニシテ右左交互ニ膝ヲ屈シテ股ヲ擧
グテ其場ニテ右方ヨリ一周ス

(基本筋ヲ練習センガタメニ課セントス)

二の運動

指導者 先頭ニテ幼兒ノ一列縱隊ノ行進ヲ指導ス

ル際兩旗ヲ肩ニ。片旗ハ肩ニ片旗ハ行進

ニツレテ前後ニ振り。兩旗ヲ行進ニツレ

テ交互ニ前後ニ振ル

排列 兩旗ヲ兩手ニ持ツテ兩臂ノ間隔及片臂ノ

距離ヲ保ツテノ整列

運動方法

一の運動

1. 兩旗ヲ側斜下ヨリ振動シテ體前下體後下ニ交

互ニ交叉ス

2. 兩旗ヲ側舉シテ下方ニ振動ス

3. A 兩旗ヲ側斜下ヨリ振動シテ體前下體後下ニ交

動ス

B 兩旗ヲ右斜上ニテ二回打擊シ左斜後下ニ振
動ス(體モ之ニツレテ捻轉ス)………4回
動ス(體モ之ニツレテ捻轉ス)………4回
動ス(體モ之ニツレテ捻轉ス)………4回

○多梅雅先生作曲ノ大捷舞踏マーチヲ用フ(商
店ニアリ)但シイヅレノ曲ニテモ差支ナシ

1. 兩旗ヲ側方ヨリ前斜上ニ舉ゲ旗ヲ交叉シテ打
擊ス(上體モ之ニツレテ後屈ス)
2. 兩旗ヲ側方ヨリ上ニ振動ス(之ニツレテ踵
ヲ上下ス)
3. A 兩旗ヲ體前下ニ交叉シニ二回打擊シ右旗ハ右
斜下ニ左旗ハ左斜上ニ振動シ上體ハ右ニ屈
シ左足ハ左方ニ出ス………4回
4. 兩旗ヲ體前下ニ交叉シニ二回打擊シ左旗ハ左
斜下ニ右旗ハ右斜上ニ振動シ上體ハ左ニ屈
シ右足ハ右方ニ出ス………4回

幼稚園と音樂

ドクトル 三田谷啓氏

「コラール」の性質を帶びた音がする。

尤も此の樂器を幼稚園で教育的目的に用ふる場合は複雑な用ひ方ではいけぬ。單純なものにして、まきらばしからぬ様にせねばならぬ。

○ 次に起る問題は、幼稚園で用ふる樂器である。自分は音樂にかけては、素人と言ふ程に智識の無いものであるが、教育の目的で日本の中や三味線が用ひられて便利のよいものとは考へ得ぬ。教育の目的には矢張西洋音樂だと信するのである。今日では日本でも、「ハルモニウム」「ピアノ」が、教育の目的で用ひられて居る。これも日本の樂器で然るべきものがないためであらう。然るに日本で西洋音樂を幼稚園や小學校で用ひらるゝ場合、只教育の方面から見て、如何なる點に注意を拂はれて居るか。これは至極興味ある問題ゆえ、自分も、機があつたら、教師方や又音樂の専門家に意見を聞いて見たいと思つて居る。

○ フィッシュナーの説によると、今日小學校や幼稚園で主として使用されるところの「クラウイーア」とび「ハルモニウム」は各種の唱歌樂器として用ひられて居るが、缺點が少からずあると言ふことである。缺點の主なものは、各個の音が「フェルスチンムンガ」のためである。兒童は容易に、不純の唱歌に馴れてしまう。「クラウイーア」にありては、音がチギレ～に響く、これを適當に使用せんとなれば、全部の「ベクライトサンク」を行はねばならぬ。併しそれは幼稚園の兒童には無益のことである。

「ハルモニウム」の音は、あまり重々しい。若しこれを快潤にせんには特別の技術を要するのである。「クラウイーア」に不純性の音が出ると言つたが、これは矢張「ハルモニウム」にも餘程ある。

そこで「フィッシュナー」の如きは、幼稚園の先生になる人のために「「ウイオーリーン」の講習會を開くやうにしたらよからうと言つて居る。（雜誌「音樂界」第百六十一號より轉載、抄）

○ 西洋音樂の中でも果して幼稚園教育に何が適當であるかが問題である。例は獨逸國で用ひらるゝ、種々の樂器あれども、幼稚園で群集教育を行ふ場合には必ず斯様のものを最善として用ふるわけには行かぬ。どうしても矢張「ハルモニウム」「ピアノ」が「バイオリン」であらう。フィッシュナーの説によれば、幼稚園の目的には「ウイオーリーン」が一番よいと言ふことである。

「サイオリーネ」の特徴とするところは、音の性格が適當して居るから小學校並びに幼稚園で用ふるには都合がよい。音は銳けれども、愛らしい或時はカスル様な音が出るが、又或時は長く響く

雜

錄

○全國幼稚園關係者大會

屢々豫報せる全國幼稚園關係者大會は全國各地方に於て多大の賛同を寄せられ、既に出席申込の通知及び同會合に於て討議研究すべき問題の提出等續々あり。準備委員に於ても、此の會合を最も有利に有効ならしむる様着々計畫しつゝあり。盛會豫期するに餘りあるべし。尙ほ種々の御都合等にて申込期日までに申込なき方と雖も、喜んで歓迎すべきにつき隨時申込まれたし。

同大會規定、役員、問題等を再録すれば左の如し。

全國幼稚園關係者大會規定

第一條 本會ハ全國幼稚園關係者ノ會合ヲ催シ幼稚園教育ノ改良

上進ヲ圖ルヲ目的トス

第二條 本會ハ全國幼稚園關係者大會ト稱シフレーベル會之レヲ

主催シ大正四年八月三日、四日、五日ノ三日間東京ニ於テ之ヲ開ク

備考 會場ハ東京女子高等師範學校講堂ヲ借用ス

第三條 本會ハ全國ノ幼稚園教育ニ關係アルモノヲ以テ組織ス

第四條 本會ニ於テ舉行すべき事項ハ講事、講演、實驗談、研究

報告等トス

第五條 本會々議ノ議長ハフレーベル會長之レニ當ル

但會長事故アルトキハ會長ハ其ノ代理者ヲ指名ス

第六條 本會ノ議事ハ普通議事法ニ依ル

第七條 本會ノ趣旨ヲ贊同シ大會ニ出席スル者ハ會費トシテ一名

金五拾錢ヲ出金スヘシ

第八條 大會出席希望者ハ大正四年五月末日マデニ東京女子高等師範學校附屬幼稚園内全國幼稚園關係者大會準備委員宛其ノ住所職氏名ヲ報告スルモノトス

第九條 本會施行細則ハ別ニ之レヲ定ムルモノトス

全國幼稚園關係者大會研究

問題及話題

△大會ニ對スル文部省諮詢案

一、幼稚園保姆養成ノ適當ナル方法

二、幼稚園ト小學校ノ聯絡ニ關スル適切ナル方法

△大會ニ於ケル研究問題

一、幼稚園保育ヲ滿三歳ヨリ始ムルト滿四歳ヨリ始ムルトノ適否

二、幼稚園ニ於テ幼兒ノ身體發達ニ有效ナル手段

三、幼稚園各組ニ於ケル各保育期ニ割り當ツル手技手工ノ種類

△大會ニ於ケル談話主題

一、幼兒康ケ上ノ希望

二、保育上陥リ易シト認ムル缺點

三、幼稚園ニ必要ナル衛生設備

四、幼稚園ト家庭トノ聯絡方法

此ノ他來會者ノ出題ハ六月二十日マデニ東京女子高等師範學

校附屬幼稚園内大會準備委員宛ニ御報告相成リタシ

△調査問題

左ノ諸項ニ就キ實際ノ狀況調査シ大會ニ於テ發表シ研究ヲ重ネタキニツキ六月二十日マニ前記準備委員宛各園ヨリ報告願ヒてク尙此際ナ利用シテ談話材料ヲ集メタキニ就キ來會者諸君ノ最良シト思ハル、話二三ヲ成ルベク詳ニ記シ前記委員宛併セテ送附セラレントコトヲ希望ス

二、幼稚園ニ於テ保母一人ノ受持テル幼兒數

全國幼稚園關係者大會役員

顧問

文部省普通學務局長

奈良女子高等師範學校長 野尻精

文部次官

商議員

東京市保育研究會長

神戸頌榮幼稚園長

大阪市保育會副會長

學習院文學部長

文部省督學官

濱幸二郎
エー、エル、ハサ

特別委員會場

神戸市保育會長
京都市保育會副會長
高輪幼稚園園長
東京市理事官
東京市教育課長
奈良女子高等師範學校
附屬幼稚園主任
東京府女子師範學校長

小豆澤英雄人
森村敏夫
元田敏夫
市左衛門

坂和土小
内田川向
みか喜五
つ實郎堯集

東京女子高等師範學校保母
東京女子高等師範學校訓導
東京市町村常小學校長
東京市誠之幼稚園保母

讀書偶記

東京市深川尋常小學校長

芝麻布共立幼稚園長

學習院助教擇

學習院學報

東京女子高等師範學校講師

東京市明治幼稚園保育

接待係

東京府女子師範學校教諭

東京女子高等師範學校助教論

私立帝國幼稚園長

一、遊戲交換

1、御大典

2、花旗旋轉遊戲

1、人形
2、鸚鵡

一、十分間談話(神戸、横澤氏)

一、研究題

(1)、各國ニ於ケル園外保育ノ實際ヲ承リタシ

大阪市保育會提出

(2)、園児ノ感覺練習ニツキ適切ナル方法ヲ承リタシ

京都市保育會提出

(3)、現今保育上陥リ易キ短所ヲ承リタシ(時間ノ都合ニテ延

神戸市保育會提出

一、神戸市保育會長閉會ノ辭

當日の參集者は三市及び近縣の幼稚園長保育諸君約五百名其他來賓、兵庫縣知事代理、神戸市長代理、小豆澤高都女師、大村大坂女師、井田明石女師、和田御影師範等の各校長、市内各小學校長諸君等にして、非常の盛會なりき。

○兒童教養相談所

日本兒童學會にては社會の切實なる要求に基き兒童教養相談所を開催し、兒童の問題につき廣く相談に應する筈なり。其の規定は次の如くなるが最適當なる事業といふべきなり。

兒童教養相談所

日本兒童學會二兒童教養相談所ヲ設置シ異常兒童ト然ラサルモノトヲ問ハス

一、其教育及ヒ養護ノ方針

二、職業ノ授業

三、其他實際上ノ要項

ニ就キテ相談ニ應ズベシ。

ニ通ジ又ハ直接ニ本所ヲ訪ハルベシ。

條項

一、兒童ニツキテ相談セントスル人ハ、先づ其要旨ヲ書面又ハ

口頭ニ本所ニ通ゼラルベシ(書面ノ場合ハ返信料送附ノ事)

一、本所ハ之ニ對シテ直チニ相當ノ挨拶ヲナスベシ

一、本人ヲ診察シ又ハ本人ニ面晤スルノ必要アル場合ニハ時日

ヲ指定シテ本人ノ同行ヲ乞フベシ

一、相談ノ報酬ハ通常金壹圓以上參圓以下トス特別ノ調査ヲ要スルモノハ其報酬ヲ金參圓以上拾圓以下トシ、場合ニ應ジ之ヲ定ムベシ商議ノタメニ要スル郵便料及ヒ車馬料ハ依頼人ノ負擔トス

顧問

東京高等師範學校教授

東京醫科大學講師

東洋大學教授

東京女子高等師範學校講師

文學博士

文學博士

乙 竹 岩 造
高島平三郎

醫學博士 唐澤光德
倉橋惣三

富士川 游

東京醫科大學助教授 醫學博士 三宅鑑一
東京女子高等師範學校教授 文學士 下田次郎

主 任

ドクトル 三田谷 啓

東京市本郷區西片町十番地

兒童教養相談所

本會六月例會を廣告の通り、六月十二日午後二時より、東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開く、吉田文學博士の「北米合衆國の幼稚園」と題する有益なる講演ある筈。多數の方々相誇ふて御來聽を希望します。

○「玩具の研究及び製作法」

東京女子高等師範學校助教藤五代策氏新著「玩具の研究及び製作法」は此の方面の著書の稀なる間にあつて、最も便利に、玩具に關する種々の知識を與ふる好著であります。同氏は昨年本會の夏期講習會に於て玩具實習の講習を擔任せられ、來會者に多大の満足を與へられました。本書は其の時、時間の都合上省略せられた理論方面的編述である由であります。幼兒教育者に適當なる参考書といふべきであります。(東京市京橋區南傳馬町目黒書店發行 定價金八拾錢)

○關西の諸君へ

去月中旬神戸市に開催せられた三市聯合保育會及び大阪市に開催せられた南區保育會總會等へ出張の節は多數の方より種々御厚誼に預りました。誌上餘白を借りて、厚く御禮申上げます。
(倉橋生)

○幼稚園唱歌の新作

「新唱歌集」著者葛原幽氏は樂友と謀りて更に幼稚園用の唱歌を新作出版の計畫中であります。就ては、如何なる題目の唱歌を最も適當として保姆諸君が要求せらるゝやを知り度いといふ希望を以て編者に謀られました。特志の諸君より適當と思はるゝ項目を東京市外淀橋町柏木九四四、葛原幽氏宛書き送らることを御願します。

S K 生 譯

六、グスタフ、キューネ博士の來訪

此の夏中リーベンスタインを訪れた多くの人々は（中には高貴顯名の人々もありましたが）皆々 リエンタルの「何時も變らぬ子供のお友達」を見

知り聞知るやうになりました、是等の人々の中に當時「オイローバ」の編輯を主宰してゐた賣れつ兒の詩人兼著作家なるグスタフ、キューネ博士がありました。博士は偽りたき温き感情を以て私達の

小さいサークルに混つて來ました、而して屢々晴々しい諧謔を以て私達のサークルを華やかなものとしました。

フレーベルと彼の努力とは當時噂によつてのみ博士に知られて居りました、而して私が初めてマリエンタルに行つてみませんかと誘ふと彼はリ

ベンスタインへは新しい事を研究に來たのではないに快き無爲と自然の鑑賞とに耽らうと思つて來たのであると言ひました。
リーベンスタイン温泉の入浴者を誘うて或る新方法を作るといふやうな眞面目な目的に眼を轉せしむることは常に困難であります。何故ならば他へ散歩に行く方が多くの人には興味が多かつたからであります、又温泉地等では人々はすべて智的効力を避けたがるものであるからです。

けれども或る日の午後、數人の淑女と紳士がアルテンスタインの「モルゲントール」を訪ひ更にその歸途にマリエンタルに立寄る計畫を樹てました。キューネ博士はこの最後の豫定行動を知らず

にこの一行に加りました、而して歩き乍ら私が不圖フレーベルを訪れることを話すと博士は「世界請戻しの萬能薬」に對する私の熱心に就て私をからかひ始めました、而してフレーベルの方法が含み能ふるすべての可能便宜はベスタロツチの思想と方法とにその基礎を有すること教育の改善に就てはベスタロツチが既に充分之を述べてゐること及びそれ故ベスタロツチの定めた基礎の上に建築して行く外何も爲すべきことのないこと等を附加へました。

博士は言ひました。「極く幼い時から施す自然に遵合した教育、觀察の上に置かれたるすべての教育の基礎、身體の勞働と學業との連結、すべての技巧的な支持若くは兒童の自然性に關係なく正反対なる事柄の強制執行の廢止、是等より以上の何事をフレーベルが望み得ませうぞ、是等は皆ベスタロツチが既に提供してくれました」

私は答へて言ひました。「フレーベルの方法はべ

スタロツチのそれと調和するのみでなくその中の善い事正しい事はすべて自分の方へ取込むのです而かもそれだけではあります、フレーベルの方法は提供すべき或る新しい異つたものを持つて居ります。尙又私は私がフレーベルの體系をもベスタロツチの體系をも「世界請戻しの萬能薬」として見ることが出来ないことを附加しておきたいと思ひます。何故ならば私はそれが以前在つたと同じやうに今でも在るといふことをよく知つて居るからであります。多くの而して種々の横杆が時代の要求する改良を齎すには必要であります、それから反語アイドニーを言つて居るのではありません。

私はベスタロツチとフレーベルは異つた分野に於て人類の改善に努力して居るものであつて二人とも同じやうに重要であると考へます。二人によつて發表せられた概則は既に先輩の賞讃を博し且又多くの思想家によつて正しきものとして承認されましたが、けれども主要なる點は其等の原理の完

全なる適用といふことに尙残つて居るのであります。これに對つて必要にして且つ充分なる實際的手段は新しい豫言者によつて量に依り經驗を通じてのみ見出さるゝであります。

「極く幼き時から始める最初の教育に關してのフレーベルの考はペスタロツチの考とは全然異つたものであります。フレーベルの考は兒童の天性の新しい理論の上に基盤を有して居ります、假令それがペスタロツチのと反対でないにせよ。けれどもその考を實行すべき實際的手段はフレーベルによつて提出されたものであつてペスタロツチによつてはありません。何故ならばフレーベルによつて母親の本能と教育的直覺とが先づ智的な活動に高められたのであります。手段は即ちこの實際的手段なのであります。

「而して若極く幼き時に施された教育が實際その後のすべての階段に於ける教育に對して基礎を置くものであるとしたならばこれは一つの重要な

要因であります。教育の對稱及び教育の手段が母親及び教師によつて智的に認知され適用されない限りは搖籃に於ける教育など、云ふもの、あり得る譯がありません。そうでなければたゞこれまでのやうに身體の注意があるばかりであります、けれども教育は心靈をも取扱はねばなりません、フレーベルは無意識から漸々に覺めて來る兒童的心靈の正しい取扱方を教へました、而して彼は自ら之を行ふことが出來ました、何故ならば彼は兒童の無意識狀態と成熟した心の有意識との間の關係を明瞭に理解してゐたからであります。

あります、斯る方法に依る時に於てのみ初めてベスタロッチの要求する活動力と智識との連結が充分に實現せらるゝのであります。

「教育の手段としての労働の採用はベスタロッチによつて機械的の仕事と土地の耕耘とに限られて居りました。フレーベルの方法は單に機械的ななることのすべてを避けると共にあらゆる生産的の仕事に於て四肢及び諸感覺を規則正しく動かせ、それから又智力と能力との訓練をこれに結合させる手段を提供します。兒童はそれですから充分に生産的活動にまで高められます。而して美術的概念は生得の能力がそれに對して備つてゐるものに對して準備せらるゝ」であります。

「著述家の生産的仕事に極印してそれを自己の精神財産とする智的有意識は労働階級の地位の日に日に高められて行く今日人々の教育（社會問題の大部分は茲に係つてゐます）に對して大なる重要を保つものでありますまいか」

キユーネ博士は言ひました。「私は未だフレーベルの方法の特質がこの點に關して如何程の價值を有してゐるかといふことを判断するに足る程の充分な智識を彼の方法に對して有しては居りませんけれどもあなたの仰有つたことは私をしてそれをもつと詳しく調べるやうに刺戟しました、けれども私達は一般の救拯を持來さんとする方法を必要とするものではありません、世間はこれまでもう澤山の新しい方法と理想とを見せられてゐます、而かも尙且大體に於て今時の昔時に優ること幾許でありますぞ。」

私は答へて言ひました。「それには私は異論があります、世界及びその中に住む人は常に變化しつつあります。而してそれは假令遲々たるものであるにもせよ兎に角極く初期の野蠻から開化の現状にまで變化して來たのであります、而してこれは或る部分は尠くとも新しい方法と新しい思想とに負はなければなりません。」

博士は言ひました。「さうです、けれども教養せられたる野蠻が尙殘つて居ります。が兎も角私は御承知の通りあまり物事を拒み續けることが出来ない性質です、而してあなたを満足させて上げませう、私もフレーベルこ興味を持つとにしませう」

私は言ひました。「フレーベルとペスタロツチの教育改良に關する價値を評價するならば教育の本性の變形即ちそれによる理解力の練磨の發達は主としてペスタロツチに負うて居ること同時にフレーベルは特に教育を道徳的教養及び人格の發達を含めたる一全體として取上げたといふことが言はるゝであります。フレーベルの教育思想は發見し難き一つの緊要なる點に繋つて居ります。而してこれは時が経つて理解もされ價値をも認められるに至るであります。

「けれどもこの二人を秤にかけてみる必要はありますん、二人は各の特徴を持つて居るからであります。一人は高く優れた人がありました、自然に

忠實で罕に見る獨創的な人であります、而して二人は直接の地盤、直覺の地盤から育つた教義を共有して居りました、而して技巧的若くは省察的な何物をも有して居りませんでした、これが眞實の保證の一つであります」。

私達は今やマリエンタルの門に到着しました、而して幼稚園で歌つて居る兒童等の聲を聞きました、フレーベルはよく午後には遊戯を監督しながら教育を施すべく兒童等と共に遊んで居ります、私達が入つて行つた時フレーベルは兒童の群れの眞中に居りました。

「それではこれがその豫言者の家ですね」と一行の中の或る人が言ひました、その時私達はマリエンタルの家の大きな廣庭を入つて行つたのであります、マリエンタルの家は後へ寄つて建てられてゐました、窓の十一ある前面を持つた二階作りで城といふよりも農夫の住家と言ひたい外見を示して居りました、けれども青々とした大木に取巻か

れて居るので愉快げに家庭的温情が漲つて居る様に見えました。

家の入口の前の大さな方形地に（これに登るべく石段が置かれてあります）芝生が出来てゐて茲に灌木が植つて居ります、而して一方の側には立派な菩提樹の古木があつて花時にはゆかしい香を四方へ漂はせます。この菩提樹の下蔭には腰掛やテーブルが据ゑられてあります、天氣のいゝ夏の日にはフレーベルは此所で彼の朝の授業を與へるのであります。

私達が入つて行つた時にフレーベルは彼の生徒や小さい児童の群れに圍まれて廣庭の真中に立て居りました、生徒や児童等は「リツワル、スレツド、リツツル、スレッド、ライク、エ、リツワル、ホイール」の遊戯の時にするやうにフレーベルを眞中にして環を作つてゐたのですが丁度その時解散しやうとする所でありました、上氣した顔と幸福に輝いた眼とを以てフレーベルは一行を迎

へました、而して室内に入る前に何か他の遊戯を所望しないかとすぐに尋ねました、一同は悉く希望しました、フレーベルは子供らしい悦びを以て再び児童の四肢の第一訓練たるそれらの巧な遊戯のいくらかを指揮しました。フレーベルは是等の遊戯を児童や大人の傳習的の遊戯から彼の教育理想に適合するやうに又一方には児童をして自然と人との生活から戯曲的に事實を表現させるやうに其粗漫な要素を取除いて模寫したのであります。

フレーベルは観覧者に遊戯の説明をしながら言ひました。「すべて是等の遊戯はその要素に於て児童の本能から發生したのであります、けれどもその教育上の目的に達するには遊戯はその意味と狙ひ所とに於て意識的に理解されなければなりません、人々は児童が遊んで居る時にはたゞ慰みを求めて遊んでゐるのであると考へます、しかしこれは大間違であります。遊戯は人間の心の發達の第一の手段であります、外界と親密にならうとし

事物から獨創的の経験を集めやうとし身心の力を練習させやうとする人間の心の第一の努力であります。児童は勿論遊戯の中に含まれてゐる目的などを知る筈がありません、而して最初の内は児童は周囲の眞似をして遊戯を行ふ時達せらるべき如何なる結果に就ても何も知りません、けれども児童は自己の本性を表現します、而してこれがその遊戲的活動に於ける人間性であります、遊戯の發達が進めば進む程人間の運動（人類のすべての文化はこれから發生します）として私達の知つてゐる諸種の運動が益々有意義になつて行きます。

「けれどもそれは是等の運動が妨げられず誤られずに表現せしめられ、児童の本性が曲げられ邪路に惹き入れられなかつた時にかぎるのであります獸的本能は導かれずに目的に達しますが、人間的本能は自由な運動によつて導かることを必要とします、この指揮は児童の盲目な自然的感情の種々なる活動によつて達せらるべき目的を知つて居

る者によつてのみ與へられます、合理的、意識的の指揮がなければ児童の活動はそれが運命づけられた生涯の使命に對して準備をせずに何の甲斐もないたゞの遊び戯れとなつて了ふのであります」

一人の友が言ひました。「大人がそのやうに絶えず指揮を與へてゐるとなると児童の遊戯からその子供らしい無邪氣アーティオスが失はれてしまひはしまりますまいかと私には思はれます」

フレーベルは言ひました。「絶えず指揮をするのではありません、児童は一日の中の大部分を自分達で自由に遊ぶやうになつて居ります、氣の置ける監督などがあつてはいけません、けれども幼稚園に於ては本児童は當に本性によつて望まれる目的に達するやうな即ち児童の發達に役立つやうな方法に於て彼等の遊戯を演するやうに指揮されます、園丁が植木を保護し、剪込み灌水し能ふかぎりの注意を施すといふことはその植木の成長を妨げることになるでありますか、高等動物はその

仔等に自己保存のために彼等が必要とする諸種の活動を教へないでありますか、例へば親鳥はその仔等に如何に熱心にその第一の飛揚を教へるでありますうぞ、子どもが幼ければ幼い程、發達しなければ發達しない程彼等は注意を要し支持を要するのであります、人間の子供の弱い本能はすべての他の動物よりも一番これを必要とするのであります。私達は私達が自然の所産に何の注意をも加へずに發生せしむる時に於てのみ自然に従ひ自然に忠實なのでありますうか。注意しない時には植木できへ延び過ぎたり野生のものと同じになつて了つたりします。すべての自然はそのすべての階段とそのすべての分界に於て教養さるべき運命づけられて居るものであります、けれども教養は自然に反するものであつてはなりません、否々それは自然の秩序に従はねばなりません、自然の基礎と自然の目的とを取入れねばなりません、自然の法則を認めなければなりません、而して自然を

その標準として遁奉しなければなりません、さもなくばそれは誤れる教養となつて了ふでありますう。

「人間の教養は意識的であるべき筈でありますがこれまで常に意識的にのみ施されて來たとはかぎりません。人間の教育は目標を要します、私は私がこの目標を自然並びに智的世界の兩者に於て支配權を有する發達の一般的法則の中に發見し得たと思つて居ります。法則を守る指揮がなければ本當の自由發達はありません、自由の誤解された思想が法則に罪を問ふやうになつたら國民生活がどんなものになるかといふことは説かずして明かでありますう」(この項未完)



の一本日 年幼木日

美面くし白き子供の報

文士 倉橋惣二先
繪畫は 六畫伯の執筆

○定價
婦人畫報 第一號 一十銭

日本幼年

發行所 東

○前金
半年前金一六四十三銭

京 社

○可愛いお子様に
御注意を願ふのは日本幼年は文學士倉橋惣三先生の監修で六畫伯の彩筆になり紙數も多く印刷する事です

○最後にお母様に

幼稚園から尋常小學でお習ひになつたことを喜び笑ひ興ずる間に知らず識らず復習し補習する事です

○可愛いお子様に
お與へになつて玩具やお菓子よりも喜はれ面白がつて樂しむ間に感情を高尚にし美しき習慣を養ひ清き心の糧となるのはこの日本幼年です

○可愛いお子様に
美しい善く育てたいと思はれるお母様方の爲めに深い注意と多くの苦心を重ねて理想的に編輯せられ今までに生れたのはこの日本幼年です

フレーベル會規則（抄）

第一條 本會ハ幼兒保育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
 第二條 本會ハフレーベル會ト稱シ東京ニ置カ
 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒保育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ本會ノ經費トシテ一ヶ月金拾錢ヲ駿出スペシ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルモノハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ

第六條 本會ノ目的ヲ達セんガ爲ニ左ノ事業ヲ行フ

- 一、總會、毎年十月之ヲ開キ保育ニ關スル演説、談話、保育參考品、幼兒成績物展覽、會務ノ報告等ヲナス
- 一、常會、毎年二月、六月、ノ第二土曜日之ヲ開キ保育ニ關スル演説、談話、協議、實驗等ヲナス
- 尙毎年四月廿一日特ニフレーベル紀念ノ爲メ會ヲ開ク
- 一、組合會、會員中特ニ或ル事項ヲ研究セントスルモノヲ以テ組織ス
- 但シ別ニ組合規約ヲ定メテ會長ノ承諾ヲ經ルモノトス
- 一、雜誌發行、毎月一回雜誌ヲ刊行シテ之ヲ會員ニ配布ス
- 一、前項ノ外本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

本會々長

中川謙二郎

本會幹事

（イロハ順）

本會評議員（イロハ順）
 井村くに池田トヨ芳賀晴
 坂内ミツ和田くら
 倉橋惣三安井實
 小向きみ雨森哲
 下田次郎氏
 乙竹岩造氏
 野口幽香氏
 横山榮次氏
 日田權一氏

伊澤脩二氏	巖谷季雄氏	吉田熊次氏	田中ふさ氏	和田くら
波多野貞之助氏	細川潤次郎氏	大瀬甚太郎氏	藤井利譽氏	坂井ふで
戸野周次郎氏	大久保介壽氏	嘉納治五郎氏		
尾田信忠氏	谷本富氏	高島平三郎氏		
唐澤光徳氏	多田房之輔氏	田中敬一氏		
棚橋源太郎氏	中村五六氏	野尻精一氏		
小西信八氏	久留島武彦氏	松本亦太郎氏		
櫻井光華氏	馬上孝太郎氏	富士川游氏		
菅原教造氏	浅岡一氏	雀部顯宜氏		
東基吉氏	三島通良氏	篠田利英氏		
菅原教造氏	瀬川昌壽氏	秀三郎氏		

井村くに池田トヨ芳賀晴	和田くら
坂内ミツ和田くら	坂井ふで
倉橋惣三安井實	和田くら
小向きみ雨森哲	和田くら
下田次郎氏	和田くら
乙竹岩造氏	和田くら
野口幽香氏	和田くら
横山榮次氏	和田くら
日田權一氏	和田くら
伊澤脩二氏	和田くら
波多野貞之助氏	和田くら
戸野周次郎氏	和田くら
尾田信忠氏	和田くら
唐澤光徳氏	和田くら
棚橋源太郎氏	和田くら
中島力造氏	和田くら
野上俊夫氏	和田くら
松本孝次郎氏	和田くら
小西信八氏	和田くら
櫻井光華氏	和田くら
菅原教造氏	和田くら
東基吉氏	和田くら
菅原教造氏	和田くら
瀬川昌壽氏	和田くら
秀三郎氏	和田くら

一、恩物

二、手藝品

三、新案手藝品

四、モンテッソリー教具

五、運動用具

六、遊戲用具

七、標本模型

八、設備用品

九、裝飾用品

十、おみやげ用品

十一、書籍繪畫類

十二、諸表簿證書類

十三、普通玩具類

十四、其ノ他一般ノ用具材料

○幼稚園用品は家庭玩具としても亦普通玩具に冠絶す

幼保幼稚園用具

東京麹町三番町

ルベル館

(九〇九二町番電話)

(〇四六九一京東替振)

フレーベル館の
新製品

春駒

一、製造の由來——此の春駒は東洋幼稚園長岸邊先生の御創案にして御使用後増々其の効果の偉大なるに驚かれつゝある運動具なり。

一、使用遊戯——騎兵の操練、騎兵の戦闘、競馬等に用ひて兒童勇躍の状を想見せられよ。

一、出来方——馬首の形に板を挽き挽き之に象嵌を以て表象し丈夫なる棒を附して末端に二個の車を附し且つ首の付け根に四尺の紐を以て首に掛くる様にす之れ戦闘の際軍刀を持つ時手を馬より離し得る爲めなり。

定價五十錢 送料實費ヲ要ス

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可(毎月一回五日發行)
婦人と子ども 第十五卷第六號 大正四年六月五日 納本済

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場